	対象年度	₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩			び行政評価シート								
事	事務事業名 成人式典開催事業		予算事業名 成人式典開催事業費										
予	. 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業			根拠法令	慣例式典	.(通過儀礼)	
H		4未来を	<u> </u> 担う子/	10 よと#	05 城を支	01 える市国	1101 - を育むます		常経費 (教育・文			主要事	**
4/A							り(生涯学			事業の区グ	जे		
小心		③青少年			= 150°					担当課係等	等 ———	生涯学	
		3成人式。 継続			Z援 平成32 ²	E度)						生涯学	当保
	かざす姿(ほ								【事業開始	のきっかに	や他市の)状況など】	
	成人自身で反												機に、各自治体で行
	自覚,郷土〜 参加を通して								われている	。本市での)直近の35	年の平均出席率は7	7%である。
新	たにするきっ	かけの	場となる	るよう,	市として	てサポー		<.					
_	手段(事業に						- 如処十フ					けして行うのか)】	
新 数	成人より成 <i>。</i> 回の全体会詞	へ八典夫 義を設け	11安貝で , その「	と選出し 中で成人	ン, 夫11 、式典の	安貝云で 役割分担	ニ組織りる。 3や新成人	。 のつど	目巾仕住及	び出身の第	「队人有		
	を企画し、う												
									【事業をと	りまく環境	の変化】		
									1 FACC	7 5 (20)	11·2 久口。		
											_		
()	【平月 人式典の新月	31年度		內容】		-1, 1 =	【平成:		事業内容】		E 1 4 = 1	【平成33年度 事 典の新成人のつどV	
ŊΧ.,	八八典の利用	X/(V)*J	< V ·			风人工	(典の制成	人のアフと	V •		成人式	典の利成人のプラとV	•
T	事業費												
						H2	9年度	H;	30年度				
財	国		支	<u>出</u>	金		0		(
源	<u></u> 県 地	支	<u></u> 方	1	<u>金</u> 債		0		(
内	そ		<u>の</u>		他		0	_	(
訳		般	則		源		1, 499		1, 575				
Н	歳 入	計平口	(千)	人加	1,499		1,575	5			
	08 報償費	番号	. + :	石)	金領	(千円) 518	_	<u>(千円)</u> 507	7			
	11 需用費						99)	146	3			
ль.	12 役務費 13 委託料						44 625		56 630				
成	14 使用料及	なび賃借料					213	_	236				
出													
内													
1 1								+					
訳								+					
								1					
Ш													
<u> </u>		計 (千					1, 499	1	1, 575			-	
Н	伸 総合計画12			% 算書168~				1	5. 07	7		1	
備	心口可回12	1. \ >	1′ 5	↑₽100′	\-\ <i>\</i>								
考													

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指標名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
	実行委員会の開催	囯	目標	7. 00	7. 00	7.00
活動	8月より順次,月に1回~2回の実行委員会を開催する。		実績	7.00	0.00	0.00
指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	成人式典出席者数	人	目標	380.00	345.00	380.00
成果	成人式典に出席した成人者数。		実績	401.00	0.00	0.00
	成人式典出席率	%	目標	79.00	80.00	80.00
	成人式典に出席した成人者割合。		実績	75. 09	0.00	0.00

	₩	Ī
<u> </u>	ш	

2 F I I I I I I I I I I I I I I I I I I		
事業の必要性	B どちらとも言えない	
実施主体の妥当 性	A 妥当である	成人教育(青年教育)を目的とした観点から見れば、行政としての関与は必要不可欠と思われる。
手段の妥当性	A 妥当である	県内他市町村においても、新成人者で実行委員会を組織し、進めているケースが多い。
コストの効率性 ・人員効率	B どちらとも言えない	
受益者の偏り	A 偏りは見られない	新成人の約7~8割は出席している。
成果向上の余地	B どちらとも言えない	
事業の進捗	B どちらとも言えない	
	事業の必要性 実施主体の妥当性 手段の妥当性 コストの効率性・人員効率 受益者の偏り 成果向上の余地	事業の必要性 B どちらとも言えない 実施主体の妥当 性 A 妥当である 手段の妥当性 A 妥当である コストの効率性・人員効率 B どちらとも言えない 受益者の偏り A 偏りは見られない 成果向上の余地 B どちらとも言えない

総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください

式典中でのマナーについては向上しているように見受けられるが、式典終了後の会場外での空き缶や空き瓶などの散乱が目立ち、そのあたりのマナーがなかなか向上されない。また、実行委員会組織による企画・運営にあたり、前年度の様子を参考にしていくため、どうしても前年度に近い内容となってしまう。さらには、新市庁舎建設及び法律の改正にあたり、次年度からの開催会場及び開催形式についても検討課題である。

対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか

式典中のマナーはもちろん,式典後のマナーについても,各実行委員からSNSなどを通じて新成人者に周知を促す。実行委員は年代ごとで考え方も変わってくるため,前年にとらわれず,その年の実行委員の色を出した式典に出来るよう,また実行委員ひとりひとりが責任と自覚を持って式典運営にあたるよう,事務局が主体とならないように気をつけて,委員それぞれの個性を発揮できるように心掛け,運営の手助けをしていきたい。

■方向性

-54112
1 次評価(1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) □拡充(人・モノ・カネ等の拡充) ■改善改革しながら継続 □現状のまま継続(改善・改革なし) □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 18歳を成人とする改正民法が可決され、2022年4月1日に施行されることから、今後の成人式のあり方や実施時期等が問題となるため、 今後の実施方法等について検討を要する。
2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) □拡充(人・モノ・カネ等の拡充) □改善改革しながら継続 □現状のまま継続(改善・改革なし) □統合・新規事業への展開 □縮小 □休止 □廃止・終了 □予定どおりの要求 □一部改善の上要求 □今回は見送り □その他の処置
企画調整会議の意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 上記評価のとおり。